

案件化調査

ラオス人民民主共和国 高生産・高付加価値農業の実現のための案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社 旬喜野恵(しゅんきのめぐみ)
- 提案企業所在地：北海道旭川市東鷹栖
- サイト・C/P機関：サイタニ郡タゴン・カウンターパート：サイタニ郡政府



ラオス国の開発課題

- 農家の生産性が低く、苗の供給、資料の購入、そして刈り入れから販売までを精米業者に頼らざるを得ない状況 その結果、
- 農家の生産技術や精米業者への不公平な利益配分により、農家収入が低位に留まる。
 - 農業への機資材投入が少なく、生産性の低い農家が多い。
 - 加工業を取り入れた付加価値生産農業への移行が遅れている。

中小企業の技術・製品

- 生産から加工・販売までの一貫した技術とノウハウ
- 生産性の高い農業
 - 精米技術、米粉製造技術、野菜加工技術、米と米粉の品質や食味の調整技術と消費者ニーズに対応した販売のノウハウ
 - 農業機械を有効に利用した低コスト生産技術とノウハウ

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

提案している事業： 高生産性・高付加価値型農業普及・実証事業

期待される成果：

- 農業生産技術の改善とそれによる農家収入の向上(うるち米の生産技術など)
- 農家の協力体制の構築により、共同による農業の機械化などによる高生産性農業の実現
- 精米率の向上、品質のよいうち米の販売による付加価値の高い農業の実現

日本の中小企業のビジネス展開

提案企業がもつ優れた生産技術を活かし、

- 生産性と価格競争力のある農産品、加工品(精米)の販売
- 乾期に利用されていない農地を活用、機械化農業の受委託事業
- 生産性と価格競争力のある加工品(精米)の生産事業
- 付加価値の高いうち米生産